平成25年度12月期（第6期）
上期決算説明会

平成25年8月9日
ラクオリア創薬株式会社

RaQualia
innovators for life

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

目次

平成25年度12月期 上期実績	6
平成25年度の業績予想	9
ラクオリアの戦略とプログラムの進捗	13
ラクオリアの戦略的開発プロジェクト	18
ラクオリアの「強み」と「魅力」	21

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。
また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

平成25年度の主なニュース

1

- 01.07 – 株式会社AskAt の設立登記完了

2

- 02.01 – インタープロテイン社との蛋白質間相互作用を標的とした創薬研究に関する共同研究契約締結
- 02.01 – 株式会社AskAt の事業開始
- 02.22 – EP_4拮抗薬の欧州における特許査定

3

- 03.22 – カルナバイオサイエンス社と特定のキナーゼを標的とした創薬研究に関する共同研究契約締結
- 03.25 – アシッドポンプ拮抗薬の米国における特許査定

5

- 05.07 – CJ第一製糖社によるアシッドポンプ拮抗薬の韓国における臨床第II相試験開始

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。
また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

平成25年度の主なニュース

6

- 06.05 – 5-HT_4受容体部分作動薬の英国第I相臨床試験終了報告提出
- 06.17 – 行使価額修正条項付き第8回新株予約権（第三者割当て）の発行及びコミットメント条項付き第三者割当て契約締結に関する取締役会決議

7

- 07.04 – 行使価額修正条項付き第8回新株予約権（第三者割当て）の発行に係る払込完了
- 07.19 – イーライリリー社（米国）との鎮痛薬の共同研究期間の延長

8

- 08.01 – 東京大学大学院医学系研究科コンチネンス医学講座との共同研究契約延長

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。
また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

新株予約権の目的とその概要

■ 新株予約権行使状況

交付株式数： 290,000株、行使額面総額： 271,775千円（平成25年7月31日時点）

■ 目的／資金使途

具体的な資金使途	支出予定時期
① 5-HT_4部分作動薬（RQ-10）の研究開発費	平成26年1月以降
② 5-HT_{2B}拮抗薬（RQ-00310941）及びモチリン受容体作動薬（RQ-00201894）の初期臨床試験	平成26年1月以降
③ リード候補化合物の分析、評価、非臨床試験及び初期臨床試験	平成26年1月以降
④ 研究機器設備投資資金と運転資金	平成26年1月以降

■ 募集の概要

（1）発行期日	平成25年7月4日
（2）発行新株予約権数	2,500個/新株予約権1個当たり15,000円（総額37,500,000円）
（3）潜在株式数	2,500,000株（2013年3月31日現在で総議決権数に対する最大希薄化率は18.8％）
（4）行使価額	当初行使価額　1,310円、上限行使価額はなし、下限行使価額は917円【＝発行決議日前日の終値x[70%]】
（5）資金調達の額	3,286,500,000円（差引手取概算額）
（6）募集又は割当方法、割当先	第三者割当ての方法による メリルリンチ日本証券株式会社
（7）本新株予約権の行使可能期間	平成25年7月5日−平成27年7月6日（約2年）
（8）その他	コミットメント条項付き第三者割当て契約を締結

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。
また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

平成25年度 12月期 上期実績

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。
また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

平成25年度12月期　上期　損益計算書

（単位：百万円）

	平成25年12月期	平成24年12月期	前年比	
	（実績）	（前年実績）	増減	増減率（%）
	上期	上期		
事業収益	82	0	82	- %
事業費用	1,216	1,330	△113	△8.6%
営業損失	△1,133	△1,330	196	14.8%
経常損失	△874	△1,602	728	45.5%
当期純損失	△903	△1,604	701	43.7%

決算ハイライト

- 平成25年1月子会社AskAt設立により、連結財務諸表を作成しております
- 当上半期における事業収益は共同研究による収入、及びマイルストーン収入を計上
- 事業費用は、前年比で113百万円を削減し、8.6％の減少
- 営業外収益として、当社投資先であるアラタナ社の株式が米国NASDAQ市場に上場したことによる投資損失引当金の戻入れ（260百万円）を計上
- 特別損失として、本社社屋の賃貸借契約更改による一部スペースの返還に伴う原状回復費用（約24百万円）を計上

＊平成25年度実績については、子会社を含む連結ベースとなっております。

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。
また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

平成25年度12月期　上期　貸借対照表

（単位：百万円）

	平成25年6月末		平成24年12月末		増減率（%）
	（実績）	構成比（%）	（前年実績）	構成比（%）	
流動資産合計	4,000	74.8%	5,089	92.5%	△21.4%
現預金	3,710	69.4%	4,889	88.9%	△24.1%
その他	289	5.4%	199	3.6%	45.0%
固定資産合計	1,349	25.2%	411	7.5%	228.1%
有形無形固定資産	112	2.1%	122	2.2%	△8.0%
投資・その他	1,237	23.1%	288	5.3%	328.1%
資産合計	5,349	100.0%	5,501	100.0%	△2.8%
負債合計	449	8.4%	190	3.5%	135.6%
純資産合計	4,900	91.6%	5,310	96.5%	△7.7%
負債・資本合計	5,349	100.0%	5,501	100.0%	△2.8%

決算ハイライト

- 現預金残高は平成24年12月末比で11.7億円減少
- 投資・その他はアラタナ社株式の時価評価の影響により、平成24年12月末比で9.4億円増加
- 純資産合計は平成24年12月末比で4.1億円減少

＊平成25年度実績については、子会社を含む連結ベースとなっております。

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。
また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

平成25年度の業績予想

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。
また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

中期経営計画（要約）

研究開発成果の収益化の向上

- Research Driveの強化・再生
- 開発プログラムの「選択と集中」
- ライセンス、アライアンスマネジメント機能の強化
- 必要に応じた研究開発ポートフォリオの拡充

経営資源の集中による事業費用の圧縮

- 内部（自社）リソースを投じる開発プログラムの選択とプログラム価値の向上
- 分社化による外部リソースを活かしたプログラム開発の加速化
- 組織のスリム化

経営の安定と事業継続性

戦略的資本（業務）提携の推進

追加資金調達の可能性の追求

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。
また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

今期の業績予想

（単位：百万円）

	事業収益	事業費用	営業損失	経常損失	当期純損失
平成25年度通期（計画）	1,014	2,169	△1,154	△1,147	△1,151
平成25年度上期（実績）	82	1,216	△1,133	△874	△903

平成25年度の事業収益

導出による契約一時金収入	プロジェクト進捗によるマイルストーン収入
• 消化器疾患領域プログラム	• 共同研究進捗に伴う一時金 • グレリン受容体作動薬（RQ-00000005） 安全性試験開始（アラタナ社：動物薬） • アシッドポンプ拮抗薬（RQ-00000004） フェーズⅡ投与開始（5月、CJ第一製糖）

＊平成25年度実績については、子会社を含む連結ベースとなっております。

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。
また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

今期の業績予想

■ 数値の前提条件

- 事業費用は研究開発活動に支障をきたさない形での固定費の圧縮
- 主な削減項目は、以下の通り。

① 人件費の見直しによる削減効果
② ファイザー社からリースしている施設の賃借料ならびに施設管理費用の圧縮

- 事業費用の主な内訳は以下の通り。

（単位：百万円）

	平成25年度（計画）	平成25年度上期（実績）	平成24年度（実績）
事業費用　合計	2,169	1,216	2,665
人件費	883	433	955
研究開発費	449	227	592
管理統制費	274	147	290
施設管理費	465	350	730

＊平成25年度実績については、子会社を含む連結ベースとなっております。

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。
また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

ラクオリアの戦略とプログラムの進捗

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。
また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

ラクオリア創薬の事業領域と戦略



1 “創薬力”の強化と継続的な開発候補品の創出

2 探索段階からの共同研究の推進

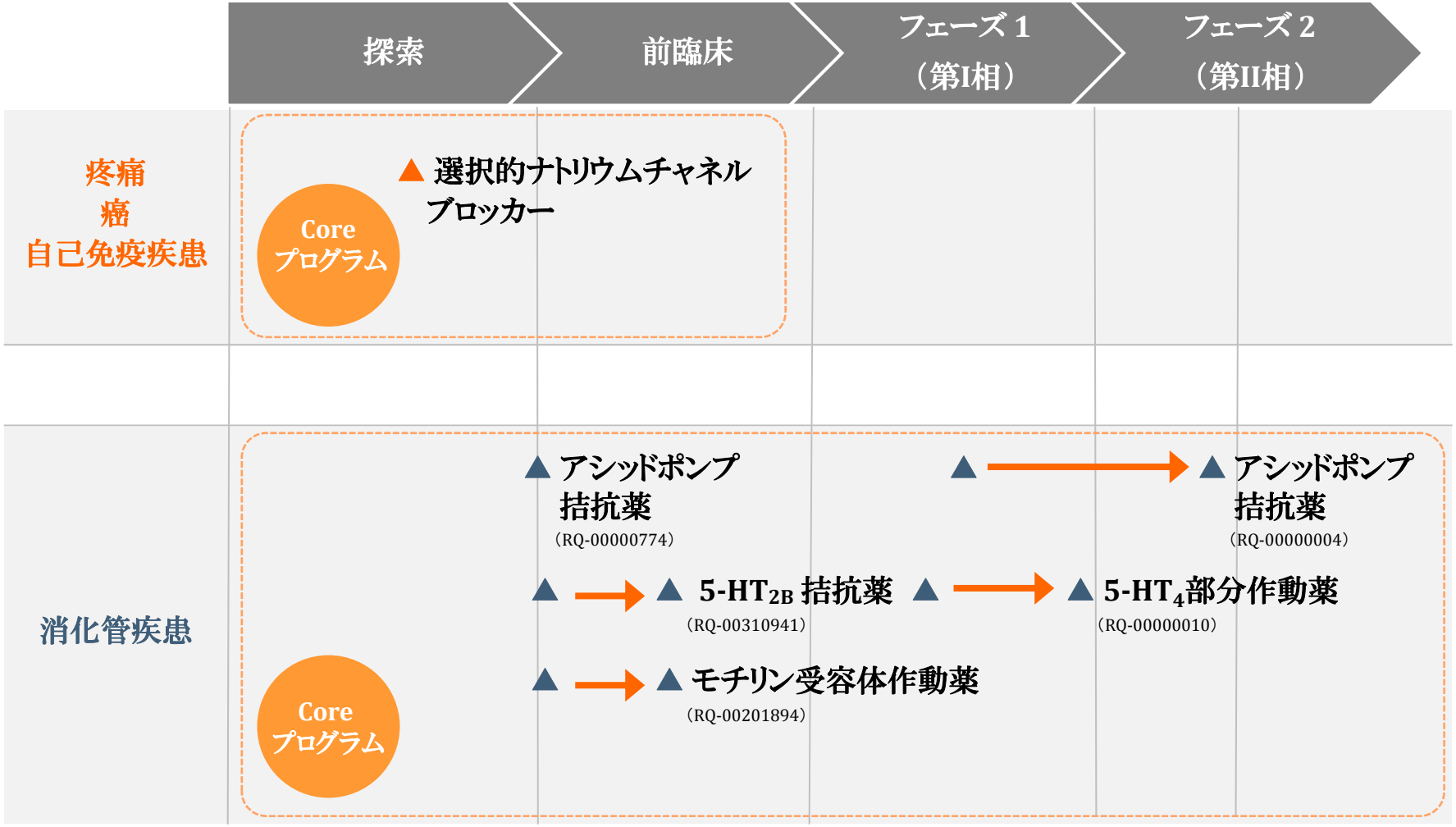
3 開発プログラムの「選択と集中」

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。
また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

主な研究開発ポートフォリオの状況
― 導出候補プログラムとステージ

2013年7月現在

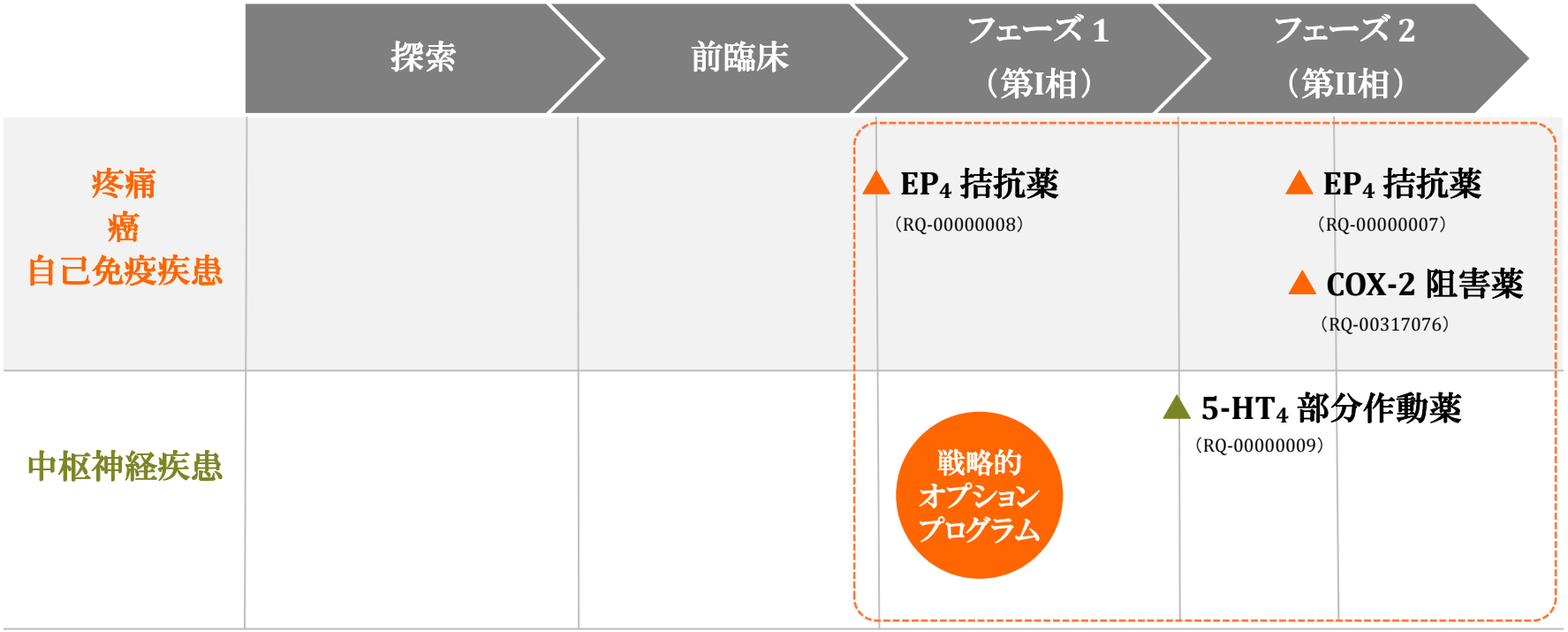


ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。
また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

株式会社AskAtの主な研究開発ポートフォリオの状況– 導出候補プログラムとステージ

2013年7月現在



ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。
また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

主な契約締結済み研究開発ポートフォリオの状況

■共同研究

2013年7月現在

プログラム	共同研究先	想定疾患領域
特定のイオンチャネル	Eli Lilly and Company	疼痛
	味の素製薬	消化器系疾患領域

■導出

プログラム	化合物コード	導出先	権利	開発段階
EP_4 拮抗薬	RQ-00000007	丸石製薬	日本、韓国、中国、台湾 （注射剤）	前臨床
		Aratana Therapeutics Inc.	全世界 （動物薬）	臨床
アシッドポンプ拮抗薬	RQ-00000004 RQ-00000774	CJ 第一製糖	韓国、中国、台湾	臨床第II相 前臨床
グレリン受容体作動薬	RQ-00000005	Aratana Therapeutics Inc.	全世界 （動物薬）	臨床
ダルババンシン （抗MRSA抗菌剤）	RQ-00000002	Durata Therapeutics Inc.	日本	臨床第I相
ジプラシドン （統合失調症・双極性障害薬）	RQ-00000003	Meiji Seika ファルマ	日本	臨床第II相
5-HT_4 部分作動薬 （消化管領域）	RQ-00000010	CJ 第一製糖	韓国、中国、台湾、インド、 東南アジア	前臨床

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。
また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

ラクオリアの戦略的開発プロジェクト

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。
また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

アシッドポンプ拮抗薬RQ-4：速やかに、持続的に、優れた胃酸抑制

研究・開発

- RQ-4は、既存のプロトンポンプ阻害薬（PPI）より優れた有効性を示す次世代の胃酸分泌阻害薬として期待される
- ①速やか、②持続的、③空腹時服用での効果、④夜間の効果　→PPIとは全く異なる特徴としての差別化点を臨床試験で証明済み
- 逆流性食道炎患者を対象とした臨床第II相試験が韓国で順調に実施中

想定される市場規模

- 2009年競合既存薬の世界的市場規模が約2兆円
- PPI置き換えによりその市場を狙う（逆流性食道炎を含む全てのPPI適応症）
- 国内PPI市場は成長中
- 競合としては、現在、武田薬品で開発中のTAK-438が臨床第III相試験を実施中

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。
また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

イオンチャネル創薬

イーライリリー社と鎮痛薬の共同研究及びオプション契約

探索研究領域でのビジネスバリデーション

創薬標的分子の探索 → 評価系の構築 → リード化合物探索 → リード化合物最適化 → 開発化合物決定 → 前臨床試験

現在の進捗

- 平成24年12月20日付けで共同研究期間の延長を行ったが、延長期間中の共同研究が順調に推移したことと、その研究成果に基づき、平成25年7月19日付けで共同研究期間の延長を実施し、鎮痛薬の開発候補化合物の創出を目指す。

RaQualia
Innovators for life

契約一時金、開発・承認・販売に応じたマイルストーン
＋ 販売後のロイヤルティー

探索研究段階における共同研究

Eli Lilly and Company



ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。
また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

ラクオリアの「強み」と「魅力」

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。
また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

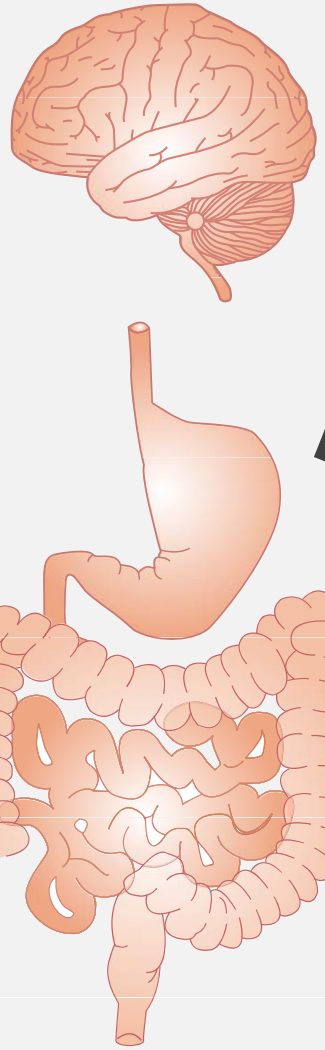
Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

充実した消化管疾患領域のポートフォリオ

食欲及び消化管運動亢進
– グレリン受容体作動薬
（RQ-5）

空腹期消化管運動正常化
– モチリン受容体作動薬
（RQ-201894）

内臓痛の改善及び消化管運動正常化
– セロトニン受容体 5-HT_{2B} 拮抗薬
（RQ-310941）



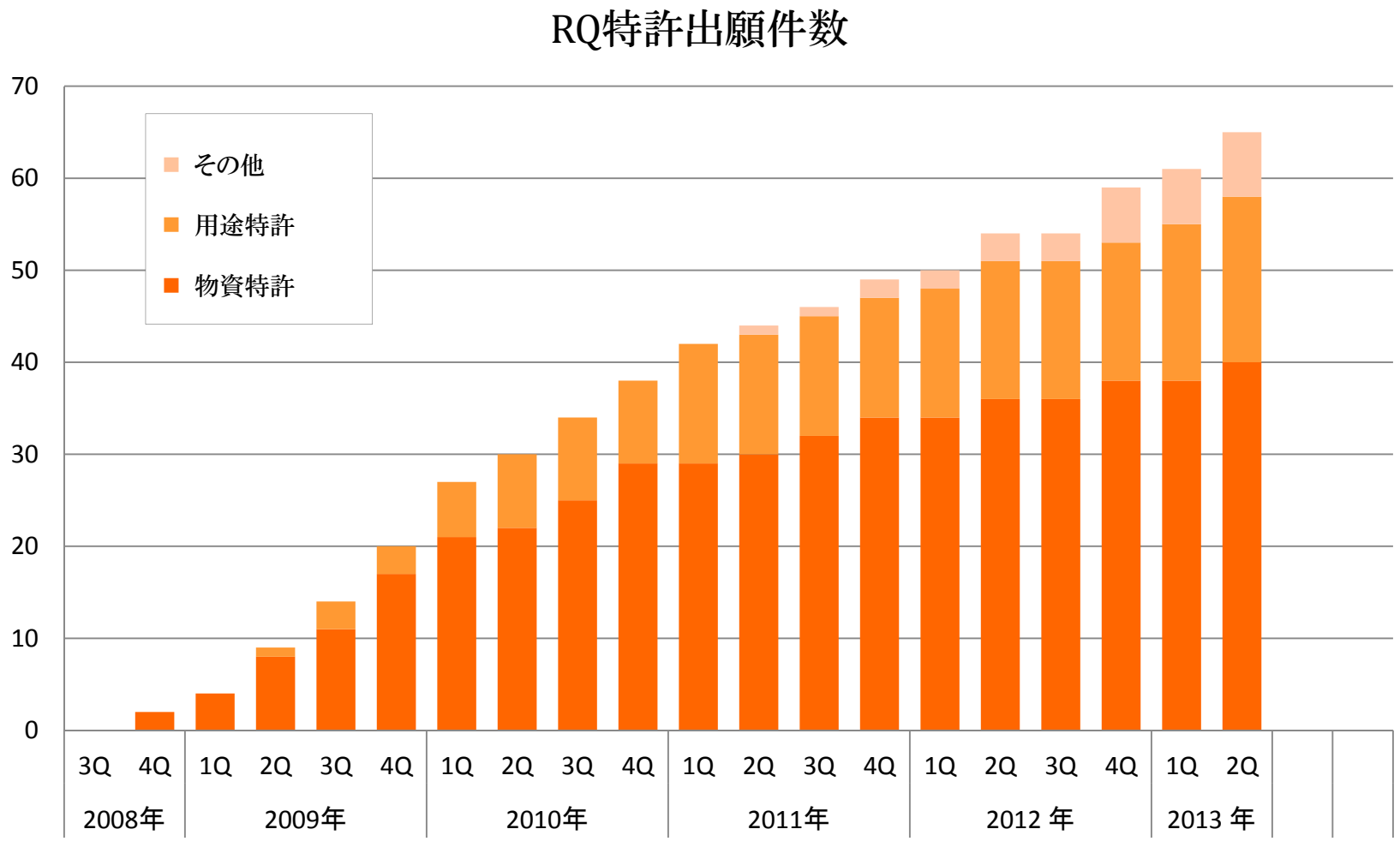
胃酸分泌抑制
– アシッドポンプ 拮抗薬
（RQ-4）

消化管運動全般亢進
– セロトニン受容体 5-HT_4 部分作動薬
（RQ-10）

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。
また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

特許出願状況



※各国移行件数を除く
※AskAt社発明特許2件含む

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。
また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

創薬力

当社の強みを活かした創薬力強化による将来的な事業収益の獲得

当社の強み

- 当社は38万のライブラリー化合物の保有によるHigh Through-put Screening（HTS）が可能
- イオンチャネルの活性評価に精通した高度な技術を有する豊富な研究員
- 浜松ホトニクス社とのイオンチャネル活性測定機器の共同開発
- 「消化管疾患領域」と「疼痛領域」に精通

創薬力強化による将来的な収益の獲得

- 「プロジェクト Reborn 90」の中で、研究プロジェクトの「選択と集中」を行うことで、開発候補化合物の創出が加速されることを目指します。特に、当社の「強み」であるイオンチャネルを標的分子とした創薬研究は資源を集中して研究を進めていきます。
- 当社のイオンチャネルに対する創薬力はこれまでに高く評価され、その結果として、米国イーライリリー社、味の素製薬社との間でイオンチャネルの共同研究契約を締結しております。
- 今後、イオンチャネルの創薬力をより強化し、複数企業と共同研究契約の締結を目指すとともに、自社でも新たな開発候補化合物の創出を進めていきます。

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。
また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
  リスクや不確実性は、特に製品（研究開発プログラムおよび化合物）に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制当局からの承認取得、国内外の医療保険制度改革、医療費抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。
また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

RaQualia
innovators for life

お問合せ先

TEL：0569-84-0700
（音声ガイダンス：「#5」 IRを選択）
E-mail：当社HPからお願いいたします。
http://www.raqualia.co.jp

ラクオリア創薬株式会社

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013